

令和4年度大垣市地域公共交通会議第1回会議次第

と き 令和4年7月29日（金）

1 報告事項

報第1号 トヨタ・モビリティ基金事業について …………… P. 1

- ・上石津地域住民が中心となったトヨタ・モビリティ基金を活用したデマンド型サービスの実証実験につきましては、令和4年3月25日をもって終了しました。
- ・また、当基金事業につきましても、令和4年5月末で2年間の助成期間が終了となったため、デマンド型サービスの実証実験結果を踏まえ、今後の方針について報告します。

【トヨタ・モビリティ基金事業とは】

- ・全国の自動車販売店が取り組む、移動課題の解決をはじめとする地域支援活動に対する助成事業のこと。
- ・助成金：最大2,000万円/件
- ・助成期間：1～2年
- ・その他：上石津地域の場合、トヨタカローラ岐阜株式会社（自動車販売店）が事業主体となり、当地域の移動課題の解決に向け、令和2年6月から令和4年5月までを助成期間として、実証実験等を実施しました。

報第2号 今後の日程について …………… P. 5

【用語解説】

1 デマンド交通について

(1) デマンド交通とは

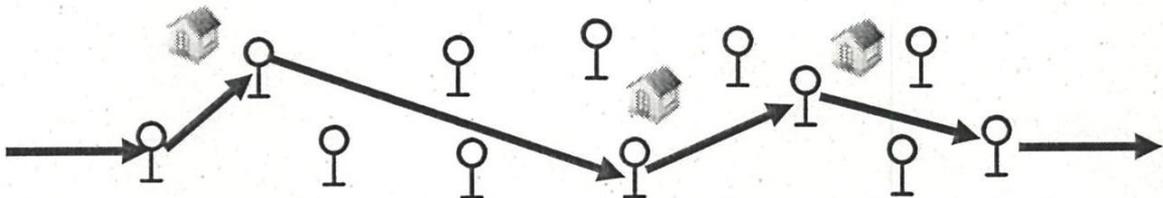
- ・予約型の乗合バス（タクシー）である。
- ・予約によって運行時間や運行ルートが決まるため、利用者の希望に近い条件で乗ることができる。
- ・ただし、乗り合わせであるため、他の予約が入った場合はそちらのバス停を経由することとなる。（希望する目的地への到着時間は厳守）

(2) 上石津地域におけるデマンド型サービスの実証実験について

① フルデマンド型

- ・予約に応じて、所定のバス停等間を最短経路で結ぶ方式。
- ・最短経路の選択により所要時間を短縮する。
- ・バス停等を多数設置することにより、バス停等までの歩行距離を短縮する。
- ・一般のタクシーとの差別化を図るため、目的施設等を限定する場合が多い。
- ・養老町オンデマンドバス、海津市デマンドバスと同じ方式。
- ・第2回目実証実験については、全地域フルデマンド型で実施。

【運行イメージ図】



出展：デマンド型交通の手引き（国土交通省中部運輸局）

トヨタ・モビリティ基金事業について

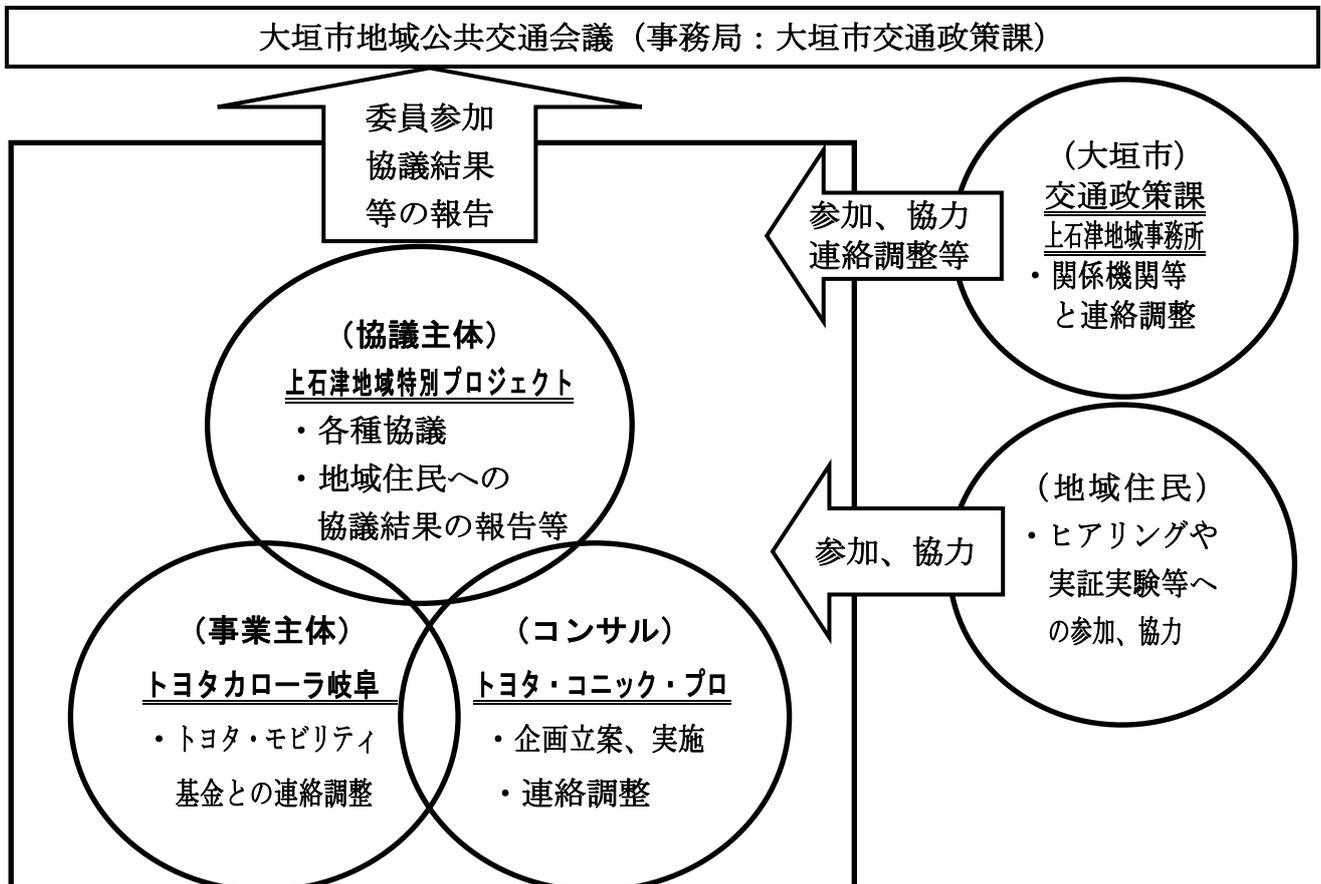
1 事業期間 令和2年6月～令和4年5月（2年間）

2 事業主体 トヨタカローラ岐阜㈱

3 経緯等

- ・令和3年4月1日に実施した再構築（定時定路線型）を検討する中で、地域住民から、トヨタ・モビリティ基金を活用したデマンド型サービスの実証実験に取り組みたいとの提案があり、応募した結果、採択された。
- ・実証実験においては、地域住民による「上石津地域の公共交通の検討に関する特別プロジェクト」が中心となり、事業主体であるトヨタカローラ岐阜株式会社及び大垣市も連携し、デマンド型サービスの内容等について検討を進め、令和3年1月から3月までの期間を第1回目、令和3年10月から令和4年3月までの期間を第2回目の実証実験として実施した。
- ・なお、トヨタ・モビリティ基金事業は2年間の助成期間であったため、令和4年5月末をもって終了となった。

4 事業の実施体制



5 デマンド型サービス実証実験の概要・実績

(1) 実証実験概要

期 間	第1回目：令和3年 1月25日～ 3月31日 第2回目：令和3年10月 4日～令和4年3月25日						
運行区域	上石津地域全域、養老町(5ヶ所)、いなべ市(1ヶ所) ※いなべ市については、第1回目は乗り入れなし						
運行主体	スイトトラベル株式会社(事業主体：トヨタカローラ岐阜株式会社)						
対 象 者 ※要登録	大垣市上石津地域に居住する65歳以上の高齢者、障がい者等 ※令和4年3月25日現在：670人(牧田207、一之瀬65、多良203、時195)						
運行車両	2台(乗車定員 ハイエース 10人、ヴォクシー 7人 各1台)						
運行時間	平日(月～金) 7:00(乗車)～17:30(降車)						
運 賃 等 (1乗車) 第2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・上石津地域内を3ブロック(「牧田・一之瀬」「多良」「時」)に分ける ・同一ブロック内の移動は200円としブロック通過するごとに100円を加算 ・養老町への移動:400円 養老町内での移動:養老町デマンドバスを利用 ※フルデマンド運行(全地域)						
		上石津地域+いなべ市(古田)				養老町 へ越境	養老町 内
	1乗車	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック		
	大人	300円	500円	700円	900円	+400円	養老町
	65歳以上	200円	300円	400円	500円	+400円	デマン
	障がい者	200円	300円	400円	500円	+200円	ド利用

(2) 第2回実証実験時に実施した取り組み

項目	実施内容	実施期間
お試しクーポン券	より多くの方にデマンド型サービスを体験していただくため、会員1人につき2乗車(1往復)限りお得に利用できる「お試しクーポン券(1乗車200円引き)」を配布【計60枚利用、クーポン券で初めて利用が19人】	令和3年12月20日から実証実験終了日(令和4年3月25日)
予約時間の変更	予約の受付を「利用時間の3時間前まで」に変更【当日予約：計4回利用】	令和4年1月11日から実証実験終了日
社会福祉協議会職員等関係者の体験会	社協職員等を対象として、地域住民へのデマンド型サービスの普及啓発のため、利用登録からの手順等を把握することを目的に、無料での体験会を実施【計6回利用】	令和3年12月20日から実証実験終了日

(3) 利用実績 ※往復利用は2回でカウント

第1回目	実証実験期間 (R3. 1～R3. 3)	1日平均	備考
利用回数	<u>34回</u>	<u>0.7回</u>	
主な目的地	① 西美濃厚生病院 35.3% ② ザ・ビッグ養老店 23.5% ③ トミダヤ養老店 23.5%		上石津地域内 8.8% いなべ市 なし
第2回目	実証実験期間 (R3. 10～R4. 3)	1日平均	備考
利用回数	<u>306回</u>	<u>2.6回</u>	お試しクーポン(200円引き)利用「60回」含む
主な目的地	① 西美濃厚生病院 55.3% ② ザ・ビッグ養老店 19.3% ③ バロー養老店 8.1%		上石津地域内 10.6% いなべ市 なし
1ヶ月に3回以上利用した利用者数		12人 計130回 (42.5%)	
※6ヶ月で計3回のみ利用者も含む		【参考】会員登録者数：670人	
6ヶ月計12回(6往復)以上の利用者数		3人 計80回 (26.1%)	
6ヶ月計24回(12往復)以上の利用者数		2人 計57回 (18.6%)	

6 デマンド型サービス実証実験会員登録者へのアンケート調査

- (1) 調査対象 デマンド型サービス実証実験の会員登録者
(2) 配布・回収 配布：670部、回収：383部(回収率57.2%)
(3) 調査結果等

項目	デマンド型サービス		コミュニティバス
利用状況	72人/383人 (18.8%)		63人/383人 (16.4%)
利用しなかった理由 ※自家用車保有(79.8%)と 家族送迎(19.9%)を除く	①帰り時間を事前に決めるのが困難 (16.9%) ②予約が面倒 (11.3%) ③料金が安い (10.6%)		— デマンド・コミバス 両方利用：30人
利用意向(利用したい)	272人/356人 (76.4%)		—
満足度(満足)	54人/64人 (84.4%)		48人/60人 (80.0%)
残存を希望する交通機関	デマンド	決められない	コミバス
デマンド利用者	34人/70人 (48.6%)	24人/70人 (34.3%)	12人/70人 (17.1%)
コミバス利用者	13人/59人 (22.0%)	18人/59人 (30.5%)	28人/59人 (47.5%)
デマンド非利用者	77人/282人 (27.3%)	139人/282人 (49.3%)	66人/282人 (23.4%)
コミバス非利用者	98人/293人 (33.4%)	145人/293人 (49.5%)	50人/293人 (17.1%)

7 大垣市コミュニティバスの利用実績

	期間 (R3.10~R4.3)	1日平均	備考
利用回数 (各コース合計)	<u>2,105回</u>	<u>18.6回</u>	デマンド型サービス実証実験（第2回目）期間中の利用回数
	令和3年度 (R3.4~R4.3) ※1日平均		令和2年度 (R2.4~R3.3) ※1日平均
利用回数 (各コース合計)		4,330回 ※18.4回	← 約2倍に増加 2,179回 ※9.1回

※令和3年4月1日の上石津地域公共交通の再構築に伴い、コミュニティバスを乗り継いでザ・ビッグ養老店での買い物、西美濃厚生病院への通院に利用できるようになったことから、利用が大きく増加したと思われる。

8 今後の方針について

- ・アンケート結果等から、デマンド型サービスの今後の利用意向は高くなっているものの、利用者数は極めて少なく、また一部の利用者に限られている現状である。
- ・令和3年4月に再構築を実施した市コミュニティバスは、従来からの利用者に加え、新設した養老コースの利用が定着しつつあり、令和2年度と比べ利用が約2倍となるなど一定数の利用がある。
- ・実証実験期間中の利用実績は、デマンド型サービスが304回、市コミュニティバスが2,105回と、市コミュニティバスの方が大きく上回る結果となった。
- ・また、令和4年6月14日に開催された上石津地域の公共交通の検討に関する特別プロジェクトにおいては、デマンド型サービスの実証実験及び市コミュニティバスの双方の利用実績等を勘案し、現時点における上石津地域に望ましい公共交通システムは、市コミュニティバスとし、一層の利用促進を図っていくことで、まとめとされた。
- ・これらの利用実績結果及び、既存の公共交通利用者の確保、利用定着の観点から、当面の間は、現在の市コミュニティバスの運行を継続することとする。
- ・今後、地域の状況を見ながら、必要に応じて見直し等に取り組むこととする。

今後の日程について

日時	内容	備考
令和4年 7月29日（金）	大垣市地域公共交通会議第1回会議（報告事項） ・トヨタ・モビリティ基金事業について	
10月中	大垣市地域公共交通会議第2回会議 ・大垣市地域公共交通網形成計画に係る評価について	